

数学解答での文字の記述について

英語の授業で筆記体を教えなくなって以来、数学の記述解答でもブロック体で書く生徒が多くなってきました。(先日も多教になってきたのはびっくりです)。印刷された解答では b を 6 と見まちがえることはまずないですが、手書きの解答では、判別できないものがたくさんあります。中には書いている本人が途中で b を 6 としてしまっているものもあります。ですので、解答が手書きのこのサイトでは、判別に注意して筆記体を使うようにしています。以下に例を挙げておきます。

b (小文字の B) \rightarrow b (筆記体)
6 とまちがえる

q (小文字の Q) \rightarrow q (筆記体)
9 とまちがえる

l (小文字の L) \rightarrow l (筆記体)
1 とまちがえる

Z (小文字の Z) \rightarrow z (ゝをつける)
2 とまちがえる

また以下も注意して使ってください (読み方も) (矢印は書き順)

\hat{a} (小文字の A) と α^{\leftarrow} (アルファ)

b (小文字の B) と $\uparrow\beta$ (ベータ)

r (小文字の R) と γ^{\downarrow} (ガンマ)